

広報

環境カウンセラーちば

第36号

特定非営利活動法人
環境カウンセラー
千葉県協議会

環境カウンセラーは、環境省に認定された環境の専門家です。
環境調査、環境管理・監査、廃棄物対策、環境教育・学習などお気軽にご相談下さい。

「新たなスタートにあたって」

理事長 國廣 隆紀

このたび、5月24日の通常総会後の臨時理事会において、戸村 泰理事長のあとを受けて理事長を担当させていただくこととなりました。

思えば歴代の小角浩、村上 利子、土田 茂通、戸村 泰の4名のリーダーのもとに築かれた当協議会でありませんが、平成10年2月8日に設立して以来、昨年10周年を迎え、平成15年7月22日にNPO法人になって7年目になろうとしています。

いままでの輝かしい成果は、10周年記念誌「環境保全活動10年のあゆみ」にまとめられていますが、それらは県内のみならず多くの方々のご理解とご支援によるものであり、当協議会の存在感がますます高まりつつあるものと思います。

こうした当協議会の理事長という重責を担うことに身の引き締まる思いがいたします。皆様のさらなるご支援とご協力をお願い申し上げます。

リーマンブラザーズの経営破綻に端を発し、世界的な100年に一度と言われる金融危機に陥り、米国の屋台骨であったGMやクライスラーも経営が行き詰まり、国内でも同様に多くの企業に経営危機が襲いかかり、派遣社員などの失業や、若者の就職の内定取り消しなどの雇用不安が生じています。

そして、昨年夏の原油価格の急騰によるエネルギーコストの大変動が発生したことも大きく影響していると思われまふ。エネルギーコストの変動は世の中の価値観を大きく変えるものであり、化石燃料が高いということからボイラーなどをバイオチップに燃料転換したものの最近ではバイオチップの品不足で悩む企業が出るなどの悪い連鎖が始まっています。国内の景気は底をつき、上向きに転換しつつあるというものの、未だその景況感は顕在的ではない状態です。

また地球環境問題では、京都議定書の約束期間である2012年が迫り、わが国の温室効果ガスの1990年比



6%削減の達成もおぼつかない中で2020年まで中期削減目標は幅広い設定目標案のうちから2005年比15%と定められました。迫りくる危機を現実のものとして捉えてこの目標を超える効果的な具体策を定めて推進する必要があります。

わが国では以前から

「環境と経済の両立」を掲げてきましたが、最近OECD閣僚理事会でも「環境と成長の両立」を目指した「グリーン成長」が宣言され、世界的な枠組みでの取組みが始まろうとしています。

このように経済面、環境面でも価値観を揺るがすほどの激変の昨今ですが、いまこそ、この両側面のバランス感覚をそなえた環境カウンセラーが新たな発想と知恵で活動のスタートを切る時だと思います。

当協議会では、事務局、4つの部および5つのセンターを設置し、今年度はとくに、事業者の環境マネジメントシステムのさらなる推進を促すためのエコアクション21の普及や内部監査員などの養成、地球温暖化対策のためのエコライフの啓発、限りある資源の循環および活用の啓発、環境関連の出前授業や自然観察会などによる環境学習の積極展開、浄化槽の適正使用の啓発などの水環境汚染防止などの啓発を行う計画であります。これらは行政・自治体との密接な連携はもとより、多くの外部機関との協働も積極的にしていくこととなっています。

当協議会では、前記臨時理事会においてかつてない充実した役職の陣容とし、とくに4名の女性の理事およびアドバイザーを起用し、幅広い活動をする事といたしました。ボランティアを軸とした組織であり、個人に負担が偏ることなく、生きがいを感じることができる組織活動を心がけたいと思います。そのためには役員、役職のみでなく、会員の皆様の積極的参加もお願い申し上げます。

第7回通常総会の報告

第7回通常総会が平成21年5月24日(日)に千葉市市民会館特別会議室において開催された。

会員総数128名に対し、98名の出席(うち、委任状49名)があり、定款第27条により定款第24条に定める通常総会として成立した。

議長に戸村泰理事長を選任し、次いで戸村議長の下で書記に二宮恵氏、長谷川三喜雄氏を、議事録署名人に辻川毅氏、西田啓作氏を選任し、理事長挨拶に続いて次の議案を審議した。

(1) 第1号議案「平成20年度事業報告ならびに決算報告」：戸村理事長が理事長総括を、服部事務局長が各部等の報告と決算報告を説明した。

(2) 第2号議案「平成19年度監査報告」：藤田監事から「事業の遂行および財産の状況は公正かつ妥当であることを認める。」との監査報告がなされた。

第1号・第2号議案ともに質問・意見がなかった。そこで議長が定款第28条に基づき第1号議案および第2号議案の議決を諮り、賛成多数で承認された。

(3) 第3号議案「平成21年度事業計画案ならびに予算案」：戸村理事長が理事長運営方針を、各部等の計画と予算案を服部事務局長が説明した。質問・意見はなかった。そこで議長が第3号議案の議決を諮り、賛成多数で承認された。

(4) 第4号議案「役員の変更」：議長が役員の変更の趣旨説明を行い、選任方法を諮ったところ、事務局案を提示するよう提案があり、事務局が新たな理事、監事の選任候補を提案した。この提案に対して質問・意見はなく、ここで議長が議決を諮ったところ、過半数でもって承認され、理事、監事として以下の諸氏が選任された。

(理事) 青木誠、阿部邦夫、石黒忠、上口清彦、國廣隆紀、松村利治(種本利治)、辻川毅、土田茂通、戸村泰、中庭武雄、西田啓作、二宮恵、野口康男、長谷川三喜雄、服部達雄、古畑義正、見並勝佳、宮田勉、茂利晃、山口由富子(以上20名)

(監事) 廣川一男、藤田忠宏、吉海照直(以上3名)

以上により議事はすべて終了し、議長は閉会を宣言した。なお、総会に続いて開催された臨時理事会において、新理事長に國廣隆紀氏が互選され、別紙の役職が委嘱された。

NPO法人として6年が経過し、この間、毎月定例で理事会を開催し、会員の英知を結集して各事業に取り組み、着実に実績を積み重ね、千葉県内環境保全活動団体としての知名度を広め、信頼と信用を定着させてき

た。平成20年度においては、

(1) 環境保全推進事業としては、「環境セミナー」、「企業/施設見学会」、「秋季研修会」、「環境公開講座」、「自然観察会」を開催し、当協議会会員だけでなく、会員外からも参加を得て、研修・啓発の機会を広く提供した。

(2) 環境保全啓発事業として、「エコメッセ2008 in ちば」や各地の環境イベントに出展・参加し、当協議会の活動を紹介し、知名度向上に努めた。

(3) 講師派遣事業においては、県環境政策課より「環境学習地域教材作成事業」の委託を受けた。昨年度に続いて高校で出張授業を行い、更に新規の高校での実施に向けての広報にも取り組んできた。

(4) 行政機関、事業者などに対する事業としては、EA21地域事務局である千葉県環境財団と連携し、EA21の一層の普及に取り組んだ。また、本年度も「企業環境セミナー」、「内部監査員養成講座」を開催し、中小企業の環境経営の推進に寄与した。

(5) 昨年度までの水環境研究会を「水環境対策センター」としてプロジェクトセンターへ発展させ、その活動の一つとして平成21年度の県とNPOとの協働事業に提案し、採択された。

(5) その他の事業として、広報「環境カウンセラーちば」を計3号発行した。

また、環境カウンセラー全国連合会(ECU)の運営に充分の協力をし、環境省関東地方環境事務所の事業実施に対しても連携・協力してきた。

平成21年度は、昨年度からの各事業を継続発展させることを基本にし、出来るだけ多くの会員の活動参加を仰ぎ、会員の有する豊富な知見・社会経験を生かして事業計画の具体的推進に取り組んでゆく。なかでも、平成21年度県とNPOとの協働事業「浄化槽使用者に対する啓発講習会の実施」については、本年度の最重要事業として特別プロジェクト体制で取り組んでいる。



(事務局長 服部 達雄)

特定非営利活動法人 環境カウンセラー千葉県協議会 役員・役職一覧

役員

理事（20名）

青木 誠	阿部 邦夫	石黒 忠	上口 清彦
國廣 隆紀	種本 利治	辻川 毅	土田 茂通
戸村 泰	中庭 武雄	西田 啓作	二宮 憲
野口 康男	長谷川 三喜雄	古畑義正	服部 達雄
見並 勝佳	宮田 勉	茂利 晃	山口 由富子

監事（3名）

廣川 一男	藤田 忠宏	吉海 照直
-------	-------	-------

役職

理事長	國廣 隆紀	環境学習センター長	戸村 泰
副理事長	戸村 泰	副センター長	種本 利治
副理事長	服部 達雄	副センター長	阿部 邦夫
副理事長	茂利 晃	副センター長	中庭 武雄
副理事長	二宮 憲	副センター長	林 正徳
		副センター長	山口 由富子
事務局長	服部 達雄	水環境対策センター長	古畑 義正
次長	長谷川 三喜雄	副センター長	上口 清彦
総務部長	古畑 義正	副センター長	見並 勝佳
副部長（会計）	宮田 勉	相談役	土田 茂通
副部長	青木 誠		
事業部長	茂利 晃	顧問	小角 浩
副部長	長谷川 三喜雄	顧問	荒野 喆也
広報部長	國廣 隆紀	顧問	有馬 富穂
副部長	佐藤 素子		
情報部長	野口 康男	アドバイザー	大山 長七郎
副部長	有馬 富穂	アドバイザー	林 正徳
EMS支援センター長	二宮 憲	アドバイザー	小関 光二
副センター長	種本 利治	アドバイザー	本間 格
副センター長	西田 啓作	アドバイザー	倉田 智子
副センター長	青木 誠	アドバイザー	小野 鈴子
地球温暖化対策センター長	辻川 毅	アドバイザー	佐藤 素子
副センター長	服部 達雄		
副センター長	阿部 邦夫	ECU 担当	土田 茂通
廃棄物対策センター長	石黒 忠	ECU 担当	小角 浩
副センター長	大山 長七郎		

第18回環境セミナー

(第7回通常総会 特別講演)

「地球温暖化について～北極海の現状～」

講師 独立行政法人 海洋研究開発機構
地球環境変動領域 北半球寒冷圏研究プログラム
北極海総合研究チーム研究代表者
博士(理学) 菊地 隆 氏

自己紹介と活動：

1996年北海道大学大学院地球物理学専攻博士課程修了。機構には12年勤務し、4月1日からチームの代表者になった。

1997年から合計6回北極海で観測し、国際北極海総合研究チームの実行委員もしている。観測は、雪氷圏(寒冷圏)でラジオゾンデ、漂流ブイ、無人航空機、土中で行っている。

観測方法は、①氷上にブイを置く(最も有効な方法で人工衛星を通じてデータを取る) ②船上から観測する(氷のない所) ③氷に穴をあけ水温・氷の厚さを測る(約1.5m)。

2007年の氷の分布は、海水面積の約60%に減り、表層水温・地温・気温が上昇した。因果関係は、まだ分かっていない。データは、天気図に利用したり(日本にも1週間後に影響する)、研究のためにも役立っている。

講演：

1. 地球温暖化と北極 1880～2008年の気温変化は、100年間で約0.7℃上昇し、IPCCの報告ではここ100年ぐらいで急に上がっていることが分かる。原因は、黒点の周期(11年周期で上下) ②エアロゾル(火山の噴火などの塵)が多くなると寒くなる ③地表の状態(黒いと吸収、白いと反射) ④温室効果ガスは、自然界よりCO₂がはるかに増加している(温室効果ガスの濃度が多いと気温が高くなる)が考えられる。

火山などのデータを入れ、コンピュータで計算すると温室効果ガスの変化を入れないと気温変化と合わないことから、温暖化に影響していることが分かる。

2. 北極海の影響 NASAの1960～2008年までの地球の平均気温変化では、2005年が一番高く、北緯44°より北が1℃以上高く、64°以北は2℃上昇した。

温暖化により北極が一番温度変化が大きいので研究している。

北極と南極は、地球のラジエーターの役割をしている。

寒い訳は、太陽光の入るのが少ないこと、雪・氷があると反射し気温が上昇しない。アルベド(反射率)は、氷がある所が90%、海が10%であり氷が海水温の上昇を防いでおり、雪・氷の存在が大切である。

3. 北極海で起きている変化 2007年北極海の氷が1979年の衛星観測史上最小になった。それまでの最小だった2005年と比べて日本列島の3個分(114万K㎡)縮小した。IPCCの予想では、2013年に北極海の夏氷はなくなる。どうしてなくなるかは、アイス・アルベド・フィードバック(海氷と海水の反射率の違いで起こる相互作用)による。



①北極海の水温は、3～5℃も上昇している。

②北極海の気圧配置は、シベリア側が低下し、カナダ側が上昇している。このため北極海からの風でヨーロッパ側に氷を押し出しているのが2005～2007年に見られた。

氷が減ると、①河川水が多くなる。②凍土が減る。③北極海の塩分が減り海洋熱塩大循環が止まる。④シロクマなどの生態変化が起こる。⑤日本への影響は、北極海の氷が押し出されシベリア高気圧が発達し1995年に豪雪、2005年に豪雪、2007年には大寒波が起こった。亜熱帯の海域は蒸発が増加し塩分も増加、高緯度地帯は降水量が増加し塩分減少が予想される。地球の復元力は、これからどうなるか分からない。



(中庭 武雄)

平成20年度千葉県委託事業
「環境学習地域教材の作成」を終えて

前環境学習センター長（現副センター長）

種本 利治

千葉県環境生活部環境政策課が募集した平成20年度千葉県委託事業に標記の事業が採択されて、環境学習の教材作成や出前授業などに会員が活動する機会を得ることができた。

この事業は、委託契約締結直後の平成20年8月初めに環境学習センター内にプロジェクトを設置して、有志会員約25人の参加を得て推進した。平成21年3月に当初計画通りの実績を上げて、終了することができた。

以下、具体的な成果を簡潔に紹介する。

1. 作成した地域教材は次の7科目

- ①浦安地域教材：廃棄物「モッタイナイの心で廃棄物を見直そう」、②浦安地域教材：水環境「調べよう水の循環」、③浦安地域教材：大気環境「空気のごれを調べよう」、④千葉地域教材：地球温暖化対策「地域からの活動が地球温暖化を防ぐ第一歩」、⑤市原地域教材：自然観察「能満谷津田から学ぶもの」、⑥木更津地域教材：生物多様性「盤洲干潟に行ってみよう。多くの生き物達に会える」、⑦東葛地域教材：地球温暖化と植生「シュロの植生と環境変化」

2. 平成20年度に活用した教材は3科目

東京学館浦安高校1年生の総合学習「エコライフ」の時間に、上記の浦安地域教材①～③が採択された。1科目100分授業（50分が2回）、1クラス23～28人、3科目合計で74人の参加を得た。

3. 地域教材の評価では貴重なご意見が

授業を行った浦安地域教材3科目は、立会いの先生に高い評価をいただいた。

その他の地域教材4科目は、執筆担当者が当該地域の高校を訪問して、関連する教科の先生に教材を読んでもらって、評価して頂いた。教材の改善方策などに関して、大変率直で忌憚のない貴重なご意見を賜ることができた。

こうしたご意見を会員がよく理解して、環境学習の講師経験と自己研鑽を積み重ねながら、若い皆さんへ環境問題の理解と実践行動への足がかりを提供して行くことが、我々の課題だと考えている。

平成21年度県とNPOとの協働事業
「浄化槽使用者に対する水質保全に関する
啓発教育の実施」のご案内

水環境対策センター長 古畑 義正

平成21年度協働事業に採択された「浄化槽使用者に対する水質保全に関する啓発教育の実施」（以下、浄化槽啓発講習PT）の講習会が7月から始まります。

当協議会会員ご自身の参加およびお知り合いや・ご近所の方々への参加の働きかけをお願いいたします。

1. 事業の概要

1) 目的

下水道未普及地域などにおける河川、湖沼の水質環境を改善するためには浄化槽放流水の水質レベルの向上が必須であり、浄化槽を使用する居住者を対象にした浄化槽の維持管理に関する「草の根」レベルでの啓発教育を行う。

2) 実施計画

(1) 受講対象者

浄化槽を設置した方を対象とした講習会で、平成19,20年度に合併処理浄化槽補助金制度を利用して浄化槽を設置した方にはDMにより開催を案内し、さらに県出先機関や地元市町村を通じて浄化槽に関心のある方への参加を呼びかけている。

(2) 講習会の内容（半日コース）

- ①千葉県の水環境 ②浄化槽の仕組み・働き
③浄化槽の管理・清掃 ④水質測定実習

(3) 開催場所

下表のとおり、県内11の浄化槽管理地域で、各1回（午前か午後のどちらかで受講）開催する。

船橋市	7月18日(土)	船橋市東部公民館
野田市	7月25日(土)	さわやかワークのだ
市川市	8月29日(土)	市川市文化会館
香取市	8月22日(土)	佐原中央公民館
旭市	9月12日(土)	海上公民館
山武市	9月26日(土)	成東文化会館のぎくプラザ
茂原市	10月24日(土)	①豊田福祉センター ②五郷福祉センター
市原市	10月17日(土)	市原市市民会館
木更津市	11月7日(土)	木更津市市民会館
いすみ市	11月21日(土)	岬公民館
南房総市	12月5日(土)	千倉保健センター

見学会報告

東京電力福島第二原子力発電所見学記

千葉大学生涯学習友の会けやき倶楽部 鹿島 春海

東京電力福島第二原子力発電所への見学会が、2月24日に実施された。原子力PR施設・エネルギー館にて原子力発電の安全対策「原子力を支える多重防護の思想」を映画から学ぶ。学習後、館内を見学しながら展示模型により原子力発電の仕組み、五重の壁などについて説明を受け、質疑応答を行った。

その後、福島第二原子力発電所を見学する。アメリカ同時多発テロ以降、テロ防止のため、原子炉、タービン・発電機など主要設備は見学を停止中で、展望台に駐車したバスの中から原子力発電所主要設備（撮影禁止）を眺めながら説明を受け、ついで中央制御室モデル・シュミレーター室を見学した。

東電には柏崎刈羽原子力発電所 821.2 万 kW、福島第一原子力発電所 469.6 万 kW、福島第二原子力発電所 440.0 万 kW がある。このうち新潟県中越沖地震(2007年7月)により世界最大の柏崎刈羽原子力発電所（東電の発電電力量の約13%）が被災、停止している。東京電力における2006年度エネルギー別発電電力量構成比は原子力38%、水力6%、火力56%であり、2007年度は7月の地震の関係で原子力23%、水力6%、火力71%と原子力が大きく減り、火力が大幅に増えた。2008年度は、原子力は20%弱と更に減る見込みである。

新潟県中越沖地震発生時に原子力発電所の安全確保にとって最も重要な原子炉を「止める」「冷やす」、放射性物質を「閉じ込める」機能が作動し、稼動していた4基は安全に停止した。しかし東電の受けた損害は莫大で、電力の安定供給、収支、環境などの面で大きな影響を受けている。東電の原子力設備利用率が1%向上するとCO₂排出量は約100万t削減されるとのこと、多くの人々に信頼されるよう、災害に強く、安全・安心な、原子力発電所を創って頂きたい。



千葉市のイベント出展報告

“千葉市民活動フェアinきぼ一る”
“千葉市手づくり環境博覧会”

情報部長 野口 康男

“千葉市民活動フェアinきぼ一る”

開催日：2009年3月14日（土）・15日（日）

場所：きぼ一る・アトリウムイベントスペース

前回までは、“千葉市民活動センターまつり”として千葉市中央コミュニティセンター・千葉市民活動センターを会場としてきたが、今回から”きぼ一る”に移しての開催となった。

また、統一テーマを“千葉市をずっと住み続けたいまちにするために みんなで YANBE!”とし、参加団体はこのテーマのもとに宣言をすることとした。

当協議会は、「私たちにできること、それは、『環境立市・千葉』として、日本一の「エコ都市」をめざし地球温暖化対策、環境学習を皆さんと行っていきます」とした。

千葉市民活動センター登録団体を中心に80の参加団体が日頃の環境保全活動や地域での活動発表。相互交流の機会となる展示や発表会が、土曜日と日曜日の2日間にわたって開催され、子供科学博物館もあり、1010人と多数の入場があった

当協議会は、環境学習活動状況を中心にA1サイズのパネルを3枚展示した。配布資料は、“省エネ家電”“おすすめBOOKを50冊配布した。

参加者：服部、戸村、石黒、大山、野口の各氏

“千葉市手づくり環境博覧会”

開催日：2009年6月6日（土）・7日（日）

場所：きぼ一る・アトリウムイベントスペース

今年も昨年と同様に環境関連の出展や参加のため、千葉市、千葉県環境保全センター、東京電力、東京ガスなど32団体が参加して開催された。

今年は参加団体をジャンル毎に5グループに分けスタンプラリーが実施された関係もあり、多数の来場者があった。

展示内容は、前記の千葉市民活動フェア in きぼ一ると同様とし、プレゼン資料は新しく作り直した。配布資料は同様、“省エネ家電”“おすすめBOOKを50冊配布した。

参加者：服部、戸村、大手、野口の各氏

活動報告

「千葉県環境教育研究会に参加して」

前理事長(現環境学習センター長) 戸村 泰

「第 11 回千葉県環境教育研究会発表会」が 2009 年 2 月 8 日(日)に開催される、については、EC 千葉(当協議会のこと)から県立茂原高校で実施した特別授業などの経験を通して、NPO と学校の協働による環境教育推進の課題を議論したいので、ぜひ発表して欲しい。

もし、OK なら、県立茂原高校の宮本明宜先生にも、学校側からの発表をお願いするので」との話が、小川かほる氏より、土田理事経由であったのは、昨年(2008)の 11 月であった。

「千葉県環境教育研究会」は、鶴岡義彦千葉大教授が会長を、小川かほる氏が事務局長をされている、小・中・高・大学の環境教育に興味を持つ先生方と企業、NPO も参加する研究会である。

県立茂原高校での 2007 年の特別授業実施のきっかけも、当時、この研究会の会員の土田理事を通して小川氏から宮本先生を紹介いただいたことであった。

前置きが長くなったが、要請に応じて「県立茂原高等学校ほかでの授業の体験から得たこと」と題して発表することとした。

発表会には種本、中庭、服部各氏と戸村が出席した。

当日午前中、①外部講師を呼んでの自然観察会についての中学校からの発表、②自然観察会(小学生)を推進する NPO からの発表、③「環境科学を担当して(NPO との協力の体験を含めて)」について県立茂原高校からの発表、④EC 千葉からの発表、⑤「環境教育推進のための NPO と学校との連携事例と課題」についての早稲田大学大学院研究員からの発表があった。

続いて、ワークショップ「環境教育推進のための市民団体と学校の連携の課題」が、出席者 30 名全員参加で行われた。

EC 千葉のこれまでの学校との協働実績を発表し、今後、さらなる推進をするために何が必要かを議論しようとして提案した。先生達からは、NPO との協働を学校運営に取り込む状況にはまだなく、個人のつながりで信頼できる団体に依頼する例が多いとの発言だった。

本研究会の先生方との常日頃の交流が、学校との接点の一つとなるのではと感じて、数名が研究会の会員となった。

受賞おめでとうございます！！

6 月の環境月間にちなんで、今年は、EC 千葉にとっておめでたい受賞がありました。

環境大臣 環境保全功労者表彰

土田 茂通氏 理事・相談役

環境大臣 地域環境保全功労者表彰

有馬 富穂氏 アドバイザー・情報部副部長
野口 久氏 EMS 支援センター幹事

ECU 理事長 環境保全功労者表彰

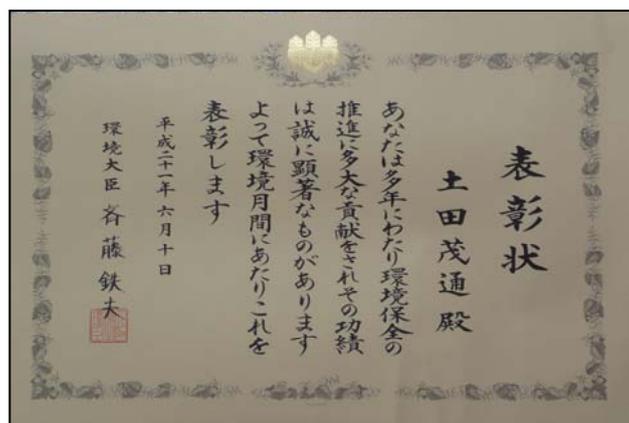
二宮 恵氏 副理事長・EMS 支援センター長

土田氏の環境大臣環境保全功労者表彰は、当協議会にとっても初めての受賞であり、氏の当協議会での長年のご活躍、地域(松戸市)および ECU(NPO 環境カウンセラー全国連合会)での活躍が評価されました。

有馬氏および野口(久)氏の環境大臣地域環境保全功労者表彰は、当協議会にとっては、2007 年の村上 利子元会長の受賞に続いての受賞です。有馬氏は当協議会での長年のご活躍や地域(八千代市)での活躍が評価され、野口(久)氏は同じく、当協議会での長年のご活躍と地域(野田市)での活躍が評価されました。

二宮氏の ECU 理事長表彰は、長年副理事長および EMS 支援センター長として ISO14001 やエコアクション 21 (EA21) の県内中小企業への普及、会員同士の審査力向上に功労があったことが評価されました。

各氏のこれまでのご功労に感謝し、今後の益々のご健勝をお祈りします。改めておめでとうございます。



(戸村 泰)

新役員紹介

見並 勝佳 (みなみ かつよし)

事業者部門・船橋市

理事 (水環境対策センター副センター長)

今年度より、理事に就任しました見並です。

私は会社員生活のすべてを「水」に関与してまいりました。このNPOでもやはり「水」に拘ってまいりたいと考えています。他のことはあまりできませんので……。

すべての生物や地球環境に不可欠であり、大きな影響を与える「水」を活動座標の中心に据え、微力ながら、皆様とともに協議会の発展に努力を致す所存です。

よろしく願い致します。(船橋市在住)

宮田 勉 (みやた つとむ)

事業者部門・佐倉市

理事 (総務部副部長)

青木様の後を継いで会計を担当させていただくことになりました。皆様にご迷惑をおかけしないよう努めますので、何卒よろしくお願いいたします。

千葉県には、佐倉市にあるTOTOPラスクリエイト(株)で仕事をするため、リオ・サミットの年1992年の12月に引越してきました。

そして、ISO14001が制定された1996年から品質と環境のマネジメントシステムの構築・維持を担当してきました。

千葉県協議会での活動歴は、まだまだ浅い者です。ご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

山口 由富子 (やまぐち ゆうこ)

市民部門・市原市

理事 (環境学習センター副センター長)

私は、横浜市から市原市に移り住んで35年。

千葉県は私にとりまして、第二の故郷ふるさととなりました。

その千葉県は、旧石器時代からの人類の歴史を積み重ねてきた“暮らしやすい大地”だそうです。

その環境を後世へ継承できるように、微力ではありますが、尽力させていただくつもりでおります。

諸般ある中での、このたびの大任は、結果として、身の引き締まる思いがございます。

どうぞご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

アドバイザー就任にあたって

佐藤 素子 (さとう もとこ)

市民部門・千葉市

アドバイザー (広報部副部長)

今年度から理事を退任された小野鈴子様、倉田鈴子様とともに当協議会のアドバイザーとして就任することになりました。

地域での環境保全活動に取り組んでいる女性会員の場合、当協議会の理事として主体的に関わるのは難しく、折角引き受けても退任すると疎遠になりがちです。

しかし、女性がもっと当協議会の活動に関わることは、当協議会にとっても女性にとってもメリットがあります。アドバイザーという立場で当協議会での活動のお手伝いをしながら、いろいろ勉強もさせていただきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

新入会員紹介

桂 徹 (かつら とおる)

市民部門・松戸市

製紙メーカーの技術者として、製品や生産技術の改良に取り組み、その後、製品やサービスが環境に及ぼす影響の評価をライフサイクル・アセスメントにより行ってきました。

最近では、これまでの知識や経験を元に、紙を扱う事業者や一般市民に、紙が環境に及ぼす影響を説明し、紙を大切に使うための情報を提供しています。

また、紙の原料を得ている森林の適切な管理と利用についても啓発活動を行っています。

稲葉 信克 (いなば のぶかつ)

事業者部門・千葉市

4月に入会させていただきました。長いサラリーマン時代は、一貫して水との関わりでした。それも人の生活とかけ離れた超純水です。早速トレードされた浄化槽啓発講習プロジェクトでは、生活用水の再教育を受けています。

巨大で複雑な地球環境問題に取り組むには微力すぎますが、Think Globally・Act Locallyをよりどころに環境カウンセラー活動をめざします。

不得手なパソコンがネックです。よろしくご指導をお願いします。

セミナー参加者の募集

自治体向けエコアクション21の普及セミナーのご案内

EMS支援センター長 二宮 恵

環境省が推進するエコアクション21（EA21）（環境経営システム）の認証・登録は、全国で3,500件を超えました。

千葉県でも中小企業を中心に約90件になりました。

ISO14001と比較して、取り組みやすく、審査、認証・登録の費用が安いなどの特徴があり、中小事業者には最適なシステムです。

平成20年度に千葉県では、自治体として、八千代市と流山市が初めて認証・登録されました。

これを機会に千葉県では「自治体向けEA21普及セミナー」を開催しますので、自治体の皆様には受講されますようご案内いたします。自治体のほか、公共機関の皆様の受講もお勧めいたします。

今回のセミナーでは、「自治体イニシアティブプログラム」と称して、自治体が30～50社ぐらいの事業者を集め、EA21中央事務局が行う集合コンサル制度の説明もしますので、一般の事業者も受講されますようご案内いたします。

1. 開催日時

平成21年7月30日（木）13:30～17:00

2. 会場

千葉商工会議所13階第2ホール

3. 内容

(1) 基調講演：自治体向けEA21の概要

EA21中央事務局事務局長 森下 研氏

(2) 事例紹介：EA21に取り組みの成果

①八千代市 ②流山市

(3) 自治体イニシアティブプログラム

当協議会 EA21 審査人 西田啓作氏

4. 主催当協議会、EA21地域事務局、千葉商工会議所

5. 後援 千葉県、EA21中央事務局

6. 申込み先 EA21地域事務局 FAX: 043-246-6969

7. 問合せ先 EA21地域事務局 TEL: 043-246-2082

自然観察会参加者の募集

平成21年度自然観察会（柵池自然園観察など）へのご案内

今年も環境学習センターは、自然観察会を計画しました。

行先は、鬼押し出し（浅間地区）と柵池高原（つがいけこうげん）で、9月28日（月）～29日（火）の1泊2日のバスツアーです。

今回も小角顧問にご指導・ご案内をお願いし、普通の生活をされている方なら、十分楽しく学べるコースです。

皆様ふるって、ご参加くださるようお願い申し上げます。

テーマ：本州中央部における地形・地質と植生・土地利用現況の観察

観察対象：「上信越高原国立公園」では、円錐活火山（浅間・白根）、火山性高原（浅間・志賀）、火山高原植物生態、火山災害

「中部山岳国立公園」では、フォッサマグナ西縁部における構造山地の壮年期侵食地形、湿原植物生態

行程概要：1日目 千葉集合（午前7時20分予定）、借上げバスで上信越道・碓氷軽井沢ICから「鬼押し出し」、昼食後、好天であれば波峠、信州中野IC、長野IC経由、見通し悪ければ鳥居峠、上田菅平IC、長野IC経由、小谷村・柵池ゴンドラリフトで「柵池ヒュッテ」に到着し宿泊（TEL 0261 - 83 - 3136）

2日目 午前中、柵池自然園見学、昼食後下山、安曇野を南下、豊科ICから中央道経由、千葉解散（午後7時頃を予定）

募集対象：EC千葉会員とその家族ならびに知人

募集人員：28名（先着順、定員になり次第締め切り）

費用概算：一人約27,000円

問合せ先・申込み先：

林 正徳 TEL&Fax 043-265-0277

E-Mail qqew2up9@air.ocn.ne.jp

山口 由富子 TEL&Fax 0436-43-1019

E-Mail hanayu@w5.dion.ne.jp

申込みは、E-MailまたはFaxをお願いします。

（林 正徳）

E C U 便り

E C U 担当 土田 茂通

平成 20 年度の N P O 環境カウンセラー全国連合会 (E C U) の理事長交代 (先崎 武氏から上田 隆一氏へ) で新体制になって一年が経過し、平成 21 年 6 月 26 日に平成 21 年度通常総会が開催された。平成 20 年度の活動報告、決算報告書、監査報告書、平成 21 年度事業計画書、収支予算書を審議し、原案通りで承認された。

役員は任期 2 年間であり、現状通りで追加や変更はなかった。

平成 20 年度の E C U は、環境大臣登録人材認定事業である環境教育推進事業の展開を中心に運営された一年であった。

1. 平成 20 年度事業報告書

1) 環境教育推進に関する事業 (環境教育委員会担当)

- ①環境教育・環境学習インストラクター認定登録
- ②環境教育・環境学習インストラクター認定セミナー
- ③環境カウンセラー登録対策セミナー
- ④緑化エコリーダー認定登録
(予定がずれ込み未実施)
- ⑤緑化エコリーダー養成セミナー
(テキストのみ作成済み)
- ⑥環境省主催環境カウンセラー研修
(関東ブロック協議会担当で環境省よりの関東地区を受託)

- ⑦環境教育教材監修
- ⑧子ども放課後環境教育プロジェクト
(受注できず未実施)

⑨エコプロダクト展出展

2) 循環型社会に関する事業

- ⑩環境政策提言 (環境省に提出)
(関東ブロック協議会担当)

2. 平成 21 年度事業計画書

事業内容は平成 20 年度を踏襲し、確実に発展させることより構成されている。

総会に引き続き、E C U 理事長表彰が行われ、全国の協議会から推薦を受けた 8 人が表彰された。

N P O 環境カウンセラー千葉県協議会では、副理事長・EMS 支援センター長の二宮恵氏が表彰された。

総務部からのお知らせ

寄付金 (2009 年 1 月 22 日～2009 年 6 月 7 日)

阿部 邦夫様	1,600 円	上口 清彦様	1,600 円
國廣 隆紀様	16,000 円	種本 利治様	8,000 円
辻川 毅様	22,400 円	土田 茂通様	38,400 円
戸村 泰様	22,400 円	西田 啓作様	47,488 円
二宮 恵様	70,200 円	野口 康男様	5,000 円
服部 達雄様	33,600 円	林 正徳 様	11,200 円
藤田 忠宏様	17,600 円	宮村 啓二様	1,600 円
茂利 晃様	21,000 円	山本 光男様	13,500 円
吉野 定治様	45,000 円		

ありがとうございました。

訃報

故品田 芳二郎殿

去る 3 月に逝去されました。

生前のご厚誼に感謝し、ご冥福をお祈りします。

編集後記

☆ 本号から広報部のメンバーが一部交代し、新たなメンバーで取り組みます。不慣れな編集でみなさまには読みづらいなどのご迷惑をおかけしますが、ご容赦をお願い申し上げます。

倉田 智子様、本間 格様および上口清彦様には、長い間、ごくろうさまでした。

広報 環境カウンセラーちば 第 36 号 (発行日 2009 年 7 月 12 日)

発行：特定非営利活動法人 環境カウンセラー千葉県協議会 (発行責任者：國廣 隆紀 会員：126 名)

URL： [http:// www005.upp.so-net.ne.jp/ec-chiba/index.htm](http://www005.upp.so-net.ne.jp/ec-chiba/index.htm)

事務所：〒261-0011 千葉市美浜区真砂 3 丁目 18 番 2 棟 505 号 戸村 泰方 (郵便宛先)

事務局：Tel& Fax 043-276-7300 服部達雄 ec_chiba_exec@yahoo.co.jp (各種ご相談、お問い合わせ先)

郵便振替口座：00110-5-34692 (加入者名：NPO 法人環境カウンセラー千葉県協議会) 会費はこちらに！

編集：広報部 國廣 隆紀・佐藤素子・二宮 恵・松本源寿

E-Mail pxz04373@nifty.ne.jp (記事寄稿先)

再生紙を使っています。